

システム

概要・基本設定	2
ログイン	2
パスワードの変更	2
再起動	2
システム名の設定	3
システムチェック	3
コマンドライン編集キー	3
コマンド入力時の注意事項	4
コンソールメッセージ	4
次に選択可能なキーワードを表示する「スペース」または「Tab」	5
オンラインヘルプ	5
コマンドライン途中のオンラインヘルプ	6
端末画面の表示行数	7
コマンドリファレンス編	8
機能別コマンド索引	8
CLS	9
HELP	10
LOGOUT	12
RESTART	13
RESTART REBOOT	14
SET PASSWORD	15
SET SYSTEM	16
SHOW SYSTEM	18

概要・基本設定

本製品は設定のためのコマンドプロセッサ（コマンドラインインターフェース）を備えています。ここではコマンド入力に関する基本的な事柄について説明します。

ログイン

本製品に対する設定は、コンソールポート（非同期シリアルポート）に接続したコンソールターミナル、または、ネットワーク上の Telnet クライアントから行います。

- 🔑 Telnet を使用するには、あらかじめコンソールターミナルからログインし、本製品に IP アドレス等を設定しておく必要があります。IP の設定については「IP」の章をご覧ください。

本製品に接続すると、「login:」というログインプロンプトが表示されます。コンソールターミナルを接続してもログインプロンプトが表示されない場合は、「Enter」キーを何度か押してみてください。

「login:」に対してユーザー名「manager」を、「Password:」に対してパスワードを入力します（ご購入時の初期パスワードは「friend」です）。ログインに成功すると、コマンドプロンプトが表示されます。

```
login: manager
Password: friend（実際には文字数分*が表示されます）

Manager >
```

- 🔑 デフォルトのパスワードを使い続けることはセキュリティ上好ましくありませんので、初回ログイン時に変更することをお勧めします。詳細は「パスワードの変更」をご覧ください。
- 🔑 Telnet 接続の場合、3 回ログイン認証に失敗すると強制切断します。この設定は変更できません。
- 🔑 Telnet 接続の場合、ログインプロンプトが表示されてから 1 分以内にログインしないと、Telnet セッションが切断されます。この設定は変更できません。

パスワードの変更

パスワードは SET PASSWORD コマンド（15 ページ）で変更します。

```
Old password: friend（入力した文字数分*で表示されます）
New password: openENDS（入力した文字数分*で表示されます）
Confirm: openENDS（入力した文字数分*で表示されます）

Manager >
```

再起動

システムを再起動するには RESTART REBOOT コマンド（14 ページ）を使います。

- 再起動を実行する前に、現在の設定内容をファイルに保存したかどうかをご確認ください。設定の保存については、「コンフィグレーション」をご覧ください。

本製品の再起動はコールドスタートです。これは、ハードウェア的にリセットをかけ、自己診断テストの実行、ソフトウェアのロードを行った後、起動スクリプトを読み込んで起動します。

システム名の設定

システム名（MIB-II オブジェクト `sysName`）を設定すると、コマンドプロンプトにシステム名が表示されるようになります。SNMP（Simple Network Management Protocol）を使用しない場合であっても、複数のシステムを管理しているときは、各システムに異なる名前を設定しておく、どのシステムにログインしているのかがわかりやすくなり便利です。

■ システム名（`sysName`）を設定するには `SET SYSTEM` コマンド（16 ページ）を使います。

```
SET SYSTEM NAME=FS808M ↵
```

- システム名に空白（スペース）を含む場合は、システム名を" "で囲んでください。

システムチェック

システムの基本情報を確認するための各種コマンドを紹介します。

■ システムの全般的な情報は `SHOW SYSTEM` コマンド（18 ページ）で確認できます。

■ システムログは `SHOW LOG` コマンド（「ログ」の 16 ページ）で確認できます。詳細については「ログ」をご覧ください。

コマンドライン編集キー

コマンドラインでは、以下の編集機能を使うことができます（VT100 互換の端末エミュレーターが必要です）。

コンソールターミナルのキー	機能
← または Ctrl+B	1 文字左に移動
→ または Ctrl+F	1 文字右に移動
Delete	カーソルの上の文字を削除
Ctrl+D	カーソルの上の文字を削除またはログアウト
Backspace または Ctrl+H	カーソルの左にある文字を削除
Home または Ctrl+A	行頭に移動
End または Ctrl+E	行末に移動
Ctrl+U	コマンド行を消去
Ctrl+K	カーソルの上より右の文字を全て削除
Ctrl+C	コマンドの実行を停止しプロンプトに戻る（対応コマンドのみ）
↑ または Ctrl+P	コマンド履歴をさかのぼる

↓ または Ctrl+N	コマンド履歴を進める
F1 または ?	オンラインヘルプを表示
Space	入力途中の文字列の補完及び次に入力可能なキーワードの一覧表示
Tab または Ctrl+I	Space と同様の機能に加えて入力補助情報の表示（対応コマンドのみ）

表 1:

コマンド入力時の注意事項

コマンド入力時には以下に注意してください。

■ 1行で入力できるコマンドの最大文字数はスペースを含めて 512 文字です。コマンド行が長くなり 1 行におさまらない場合は、コマンドの省略形を使うか、コマンドを複数行に分けてください（ADD と SET など）。

■ 「ADD」、「IP」などのキーワード（予約語）は大文字小文字を区別しないので、どちらで入力してもかまいません。一方、パラメーターとして指定する値の中には、パスワードのように大文字小文字を区別するものと、ユーザー名のように大文字小文字を区別しないものがあります。各コマンドの説明でご確認の上入力してください。

■ コマンドは一意に識別できる範囲で省略可能です。例えば、SHOW FILE コマンド（「ファイルシステム」の 9 ページ）は次のように省略して入力できます。

```
SH FI ↓
```

■ コマンドの実行結果は（エラーがなければ）すぐに本製品に反映されますので、再起動などを行う必要はありません。ただし、次のコマンドは再起動後に設定内容が反映されます。

- アクセスフィルター関連コマンド
- SET VIDRANGE コマンド（「バーチャル LAN」の 16 ページ）
- CREATE SNMP COMMUNITY コマンド（「SNMP」の 8 ページ）（TRAPHOST パラメーター指定時）
- DESTROY SNMP COMMUNITY コマンド（「SNMP」の 12 ページ）
- ADD SNMP COMMUNITY コマンド（「SNMP」の 6 ページ）（TRAPHOST パラメーター指定時）
- DELETE SNMP COMMUNITY コマンド（「SNMP」の 10 ページ）（TRAPHOST パラメーター指定時）

設定内容は再起動すると消えてしまいますので、再起動後にも同じ設定を使いたいときは CREATE CONFIG コマンド（「コンフィグレーション」の 5 ページ）でファイルに保存し、SET CONFIG コマンド（「コンフィグレーション」の 6 ページ）で、保存した設定スクリプトが次回起動時に読み込まれるように設定してください。詳細は「コンフィグレーション」などを参考にしてください。

コンソールメッセージ

コマンド入力後、実行結果や構文エラーを知らせるメッセージが表示されることがあります。

```
Manager > set system name=sales
```

```

Operation successful.

Manager > set systemname=sales

Command syntax error.

Manager > set system
Parameter error or Invalid value.

```

次に選択可能なキーワードを表示する「スペース」または「Tab」

コマンドの入力途中で「スペース」または「Tab」キーを押すと、次に選択可能なキーワード（コマンド名やパラメーター名、オプション名）の一覧が表示されます。

■ 例えば、コマンドラインの先頭で「Tab」キーを押すと次のように表示されます（「Tab」は表示されません）。

```

Manager > Tab
ACTIVATE  ADD      CLS      COPY      CREATE     DELETE     DESTROY    DISABLE
ENABLE    FLUSH    HELP     LOAD      LOGOUT     PING       PURGE      RESET
RESTART   SET      SHOW     UPLOAD

Manager >

```

列挙されているのが、コマンドラインの先頭キーワードとして有効な単語の一覧です（表示項目はソフトウェアのバージョンによって異なる可能性があります）。

- ☞ 表示されるキーワードの中には、サポート対象外のものも含まれる可能性があります。詳細はリリースノートなどでご確認ください。

■ つぎに、コマンドラインで上記のキーワード一覧の「SHOW」を入力し、さらに半角スペースを一文字入力した上で再度「Tab」（または「スペース」キー）を押すと、次のように表示されます。

- ☞ 何らかの文字列を入力した後で「Tab」または「スペース」キーを押すときは、文字列の後ろに半角スペースを入力してから各キーを押す必要があります（半角を入力しなくても2度各キーを押すと自動的に半角スペースが表示されます）。

```

Manager > show Tab
ACCESS    CONFIG    CONSOLE   DEBUG     FILE      FTP       IP         LOADER
LOG       SNMP      SWITCH    SYSTEM    TELNET    TFTP     VLAN

Manager > show

```

オンラインヘルプ

オンラインヘルプを見るには、HELP コマンド（10 ページ）を使います。

■ オプションなしで **HELP** コマンド (10 ページ) を実行すると、ヘルプファイルのトップページが表示されます。

```
HELP ↵
```

■ トップページの一覧から表示させたいトピックを指定すると、該当項目が表示されます。

```
HELP IP ↵
```

ヘルプファイルはファームウェアファイルに組み込まれて配布されています。

■ F1 キーを押してもオンラインヘルプを表示できます。例えば、A キー、F1 キーの順に入力すると、アクセスフィルターのヘルプが表示されます (「F1」は表示されません)。

```
Manager > A F1

FS808M/FS816M オンラインヘルプ

アクセスフィルター

Help ADd Access filter      アクセスフィルターグループへエントリーを追加
Help DELeTe Access filter entry アクセスフィルターグループからエントリーを削除
Help DIisable Access filter アクセスフィルターを無効にする
Help ENable Access filter   アクセスフィルターを有効にする
Help SEt ACcess filter      アクセスフィルターグループの設定を変更
Help SEt ACcess Filter Entry アクセスフィルターグループのエントリーを変更
Help SHow ACcess filter     アクセスフィルターグループの設定内容を表示

Manager >
```

コマンドライン途中のオンラインヘルプ

コマンドラインの途中で「F1」キーまたは「?」キーを入力すると、そのコマンドのオンラインヘルプを表示します (「F1」は表示されません)。

```
Manager > create vlan F1

VLAN を作成します。PORTPROTECTED オプションを指定することで、
作成する VLAN は、Protected Ports (Multiple VLAN) VLAN となります。

CREATE VLAN=vlan-name VID=2..4094 [PORTPROTECTED]
```

コマンドが特定できない場合は、Unknown help command. と表示されます。(「?」は表示されません)。

```
Manager > show f ?
Unknown help command.

Manager > show f x
FILE FTP

Manager > show ft ?
```

FTP サーバーの設定情報を表示します。

SHOW FTP

端末画面の表示行数

デフォルトの端末設定では、1 画面の表示行数が 22 に設定されています。コマンドの出力結果が 22 行よりも長い場合は 21 行ごとに表示が一時停止し、最下行に次のようなメッセージが表示され、キー入力待ち状態になります。

```
--More--  (<space> = next page, <CR> = one line, C = continuous, Q = quit)
```

ここでは次のキー操作が可能です。

Space	次の 1 ページを表示します。
Enter	次の 1 行を表示します。
c	残りすべてを一度にスクロール表示します。PING コマンド、SHOW LOG コマンド、SHOW SWITCH FDB コマンドは、Ctrl+C でスクロール表示を中止できます。
q	表示を中止し、プロンプトに戻ります。

表 2:

一度表示された行をさかのぼることはできません。

■ 表示行数は SET ASYN コマンド（「ターミナルサービス」の 7 ページ）で変更できます。この設定はセッション（コンソールターミナルと Telnet セッション）に共通して有効になります。設定スクリプトにも保存されます。

```
SET ASYN PAGE=30 ↵
```

■ ページ単位の一時的停止を無効にするには、PAGE パラメーターに OFF を指定します。

```
SET ASYN PAGE=OFF ↵
```

コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

概要・基本設定

CLS	9
HELP	10
LOGOUT	12
RESTART	13
RESTART REBOOT	14
SET PASSWORD	15
SET SYSTEM	16
SHOW SYSTEM	18

CLS

カテゴリー：システム

CLS

解説

現在表示中の画面を消去する。消去後はプロンプトとカーソルが1行目に表示される

入力・出力・画面例

```
Manager > cls
```

例

■画面をクリアする

CLS

HELP

カテゴリ：システム

HELP [{*command*|*function*}]

command: 対象となるコマンド名。省略時は、オンラインヘルプのトップページが表示される

function: 対象となる機能名。省略時は、オンラインヘルプのトップページが表示される。次の値を指定できる（大文字の部分だけの入力で可）。アクセスフィルター（Accessfilter）、コンフィグレーション（Configuration）、フォワーディングデータベース（FDb）、ファイルシステム（Filesystem）、IP（Ip）、アップロード・ダウンロード（LOADEr）、ログ（LOG）、システム（SYstem）、スクリプト（SCript）、SNMP（SNmp）、スイッチング（SWitch）、ターミナルサービス（Terminal）、バーチャル LAN（Vlan）、キーバインド（Keybind）

解説

コマンドのオンラインヘルプを表示する。F1 キー、?キーも同義

入力・出力・画面例

```
Manager > help
```

```
FS808M/FS816M オンラインヘルプ
```

```
This online help is written in Japanese.
```

```
ヘルプは次のトピックを説明しています。
```

```
入力は太文字の部分だけにかまいません。("HELP ACCESSFILTER" は "H A"と省略可)
```

Help Accessfilter	アクセスフィルター
Help Configuration	コンフィグレーション
Help FDb	フォワーディングデータベース
Help Filesystem	ファイルシステム
Help Ip	IP
Help LOADEr	アップロード・ダウンロード
Help LOG	ログ
Help System	システム
Help Script	スクリプト
Help SNmp	SNMP
Help Switch	スイッチング
Help Terminal	ターミナルサービス
Help Vlan	バーチャル LAN
Help Keybind	キーバインド

例

■オンラインヘルプのトップページを表示する

HELP

■アップロード・ダウンロードのオンラインヘルプを表示する

HELP LOADER

備考・注意事項

Windows 9x 系のハイパーターミナルでは F1 キーは使用できない

LOGOUT

カテゴリー：システム

LOGOUT

解説

ログインセッションからログアウトする。LOGOFF、QUIT、EXIT、BYE も同義。プロンプトに入力のない状態で CTRL+D によるショートカットも使用可能

入力・出力・画面例

```
Manager > logout

Good bye.
```

例

■本システムからログアウトする

LOGOUT

RESTART

カテゴリー：システム

RESTART

解説

システムを再起動する。RESTART REBOOT コマンドと同じ

入力・出力・画面例

```
Manager > restart reboot  
  
Do restart system now? (Y/N):
```

例

■システムを再起動する

RESTART REBOOT

備考・注意事項

「Y」キーを押すと、システムを再起動する。「N」キーを押すと、コマンド入力待ちプロンプトに戻る

RESTART REBOOT

カテゴリー：システム

RESTART REBOOT

解説

システムを再起動する。RESTART コマンドと同じ

入力・出力・画面例

```
Manager > restart reboot  
  
Do restart system now? (Y/N):
```

例

■システムを再起動する

RESTART REBOOT

備考・注意事項

「Y」キーを押すと、システムを再起動する。「N」キーを押すと、コマンド入力待ちプロンプトに戻る

SET PASSWORD

カテゴリー：システム

SET PASSWORD

解説

ログインパスワードを設定する。16 文字以下。使用可能文字は半角英数字、記号およびスペース。大文字小文字を区別する。New password に何も入力しなければパスワード無しになる

入力・出力・画面例

```
Manager > set password

Old password : *****
New password : *****
Confirm      : *****

Password has been changed.
```

例

■パスワードを変更する

SET PASSWORD

関連コマンド

SHOW SYSTEM (18 ページ)

SET SYSTEM

カテゴリー：システム

SET SYSTEM [NAME=*system-name*] [LOCATION=*location-name*]
[CONTACT=*contact-name*]

system-name: システム名。20 文字までの半角英数字、およびシャープ [#]、パーセント [%]、クエスチョン [?]、円マーク [\] を除く半角記号で入力する。空白を含む場合はダブルクォート ["] で囲み指定する。消去する場合は 2 つのダブルクォートを指定するか何も指定しない。

location-name: ロケーション名。20 文字までの半角英数字、およびシャープ [#]、パーセント [%]、クエスチョン [?]、円マーク [\] を除く半角記号で入力する。空白を含む場合はダブルクォート ["] で囲み指定する。消去する場合は 2 つのダブルクォートを指定するか何も指定しない。

contact-name: コンタクト名。20 文字までの半角英数字、およびシャープ [#]、パーセント [%]、クエスチョン [?]、円マーク [\] を除く半角記号で入力する。空白を含む場合はダブルクォート ["] で囲み指定する。消去する場合は 2 つのダブルクォートを指定するか何も指定しない。

解説

システム情報を設定する。MIB オブジェクトの値として参照される。

パラメーター

NAME システム名 (sysName)

LOCATION 設置場所 (sysLocation)

CONTACT 連絡先 (sysContact)

入力・出力・画面例

```
Manager > set system name="FS816M"

Operation successful.

Manager > set system name=""

Operation successful.
```

例

■システム名を設定する

```
SET SYSMTEM NAME="FS808M"
```

■システム名を消去する


```
SET SYSTEM NAME=" "
```

関連コマンド

SHOW SYSTEM (18 ページ)

SHOW SYSTEM

カテゴリー：システム

SHOW SYSTEM

解説

システム情報を表示する

入力・出力・画面例

```

Manager > show system

Switch System Status
Board      Bay      Board Name Rev
-----
Base       -        FS816M      A1
-----
Memory -   DRAM : 8192 KB    FLASH : 1536 KB    MAC : 00-09-41-12-34-56
-----
SysDescription : CentreCOM FS816M Version 1.0.0 B04
SysContact     : admin@SW
SysLocation    : 5th floor, ab_bldg
SysName        : FS816M
SysUpTime      : 9420368 ( 1 days, 02:10:03 )
Release Version : 1.0.0
Release built   : B04 (Jul 13 2003 at 12:10:18)

Flash PROM     : Good
RAM            : Good
NIC            : Good
SW chip        : Good
UART           : Good

Configuration
Boot configuration file: test2.cfg (exist)
Current configuration : test2.cfg

```

Board	製品（基板）の種類。スイッチ本体（Base）のみ
Bay	常に「-」
Board Name	製品（基板）の名称
Rev	製品（基板）のハードウェアリビジョンとハードウェア改修レベル
DRAM	実装されている DRAM のメモリーの容量

FLASH	実装されているフラッシュメモリーの容量
MAC	製品の MAC アドレス
SysDescription	製品およびファームウェアの概要 (MIB-II の sysDescr)
SysContact	管理責任者 (MIB-II の sysContact)
SysLocation	設置場所 (MIB-II の sysLocation)
SysName	システム名 (MIB-II の sysName)
SysUpTime	稼働時間 (前回再起動してからの時間)
Release Version	リリースソフトウェアのバージョン
Release built	リリースソフトウェアファイルのビルト日
Flash PROM	Flash ROM の プログラムデータチェックサム演算、照合結果
RAM	Boot 時の RAM テスト結果
NIC	Boot 時の NIC テスト結果
SW chip	Boot 時の SWchip テスト結果
UART	Boot 時の UART テスト結果
Boot configuration file	次回起動時に実行される設定ファイル名。ファイルが存在する (exist) か存在しないか (doesn't exist) も表示される
Current configuration	今回の起動時に実行された設定ファイル名。「None」の場合には、設定ファイルを読み込んでいない

表 3:

例

■ システムの情報を表示する

SHOW SYSTEM